



鈴鹿市立加佐登小学校

学校運営協議会だより

第5号

令和8年2月28日発行

学校運営協議会事務局

第5回 学校運営協議会【2月26日(木)開催】(報告)

場所 加佐登小学校 児童会室

時間 13:30～14:40

参加者 委員長、副委員長、委員6名、教育支援課担当者、学校長

概要 あいさつ、学校関係者評価(今後の改善点)について等、教育支援課より

◇あいさつ(委員長、学校長)

委員長より「最後の学校運営協議会となります。1年間ありがとうございました。また本日は学校関係者評価についての議題があるが、皆さんから各評価について多くの意見をいただいたので話し合いを進めてもらいたい。また、今年度も3月だけと残り少ないが、見守り活動もよろしくお願いします。」とあいさつしていただきました。

学校長からは、最近の環境整備の様子(のぼり棒の設置、ブランコの撤去、滑り台の改修)と「6年生を送る会」の様子について静止画を用いて説明しました。

◇学校関係者評価について

学校長 令和7年度学校関係者評価について、数多くのご意見をいただきありがとうございました。各項目について、今後の改善点を中心に説明いたします。

「主体的に対象とかかわり、共に高めあう子どもの育成」についての説明

・質疑なし

学校長 「互いを尊重し、安心できる人間関係づくり」「1人ひとりに応じた指導・支援体制づくり」について説明

委員長 「どんな理由があってもいじめはいけない」についてそう思うと答えた子が100%でないことが気になります。そのように答えた子の話を聞いてもらいたい。

学校長 高学年でみられるのが、子どもの関係性でうまく関係が築けない無力感から「この子はいじめられても仕方がない」と感じてしまうことがあるようである。ただし教員はあきらめることなく話をして、そのように感じてしまう子の意識を変えさせたい。

委員 2人の子どもがお世話になっているが、下の子はトラブルが起こっても丁寧に対応していただいている。ただ、上の子のクラスではいろいろあるようで心配している。

学校長 こちらもそのクラスのことは気にかけしており、最近は複数の教員で見るように対応している。また気になることがあれば教えていただきたい。

委員 いじめについて、叩かれたり意地悪をされたりした子や「がまんしなさい」では納得がいけない子の気持ちの持っていくところが難しいと思うが…。

学校長 まったくその通りで「がまんしな」や「理解して」では、感情での本当の理解ができないため、その子らの気持ちをしっかりと受け止めて丁寧に話を聞くことからしか始まらないと考えている。まずはその子らの気持ちに寄り添うことで少しでも解消につなげたい。

副委員長 まだ、感情を出せる子はましな方だと思います。

学校長 「児童生徒理解を基盤とした生徒指導」「安全で安心な学び場づくり」について説明

・質疑なし

学校長 「学校運営協議会を中心としたコミュニティ・スクールの推進」「教職員の働きやすい労働環境づくり」について説明

・質疑なし

◇その他（卒業式）について

学校長 別紙にあるように3月19日に行われますので参加の検討をお願いします。

委員長 卒業式の服装について、校長先生から相談があり、以前、華美な服装は控えてもらうように紙で連絡したが、袴をもう予約したようで着てくる子もいるようなのでご理解願いたい。

学校長 2名の保護者から相談をうけています。

委員 市内の他の学校ではどうですか。

学校長 教頭の前任の学校では「袴を着ないように」と明記してあったようです。

◇教育支援課担当者より

- ・本日が最後の学校運営協議会となるが1年間見ていただき多くの意見もいただいたので、今後、学校がそれらをもとにすべてとはいかないが、ゆっくりでも改善していただけるはずである。
- ・いじめについて、たくさんの意見をいただいたが、子どもらも「いじめはだめだ」はわかっている。しかし市内の学校でもいじめは起こっている。そのようなときに「なぜ悪いのか」を考えさせ、いろいろ経験させることが大事で、そのような経験を通して大人社会がわかってくると思う。また、アンケートはとる時期も大きく影響しトラブルがあるかないかで大きく結果が変化する。また4年生は難しい時期であり高学年の手前で、自由な面が増えてくる。そのようなときでも共に考えながら見守ってほしい。
- ・卒業式の袴着用が話題が出たが、市議会でも話題になった。卒業式は最後の授業と考え、集大成としてその服装で本当にいいのかを考えさせたい。また、服装についての文書を中学校区でそろえて出すのも効果があるのではないかな。
- ・この場（学校運営協議会）はとても大事で、学校がどのようにしたらよくなるかを考える場である。学校だけで解決できないことをいろいろな立場の方が「何がいいのか、どうすればいいのか」を考えていただく場である。1年間ありがとうございました。